

平成30年第3回定例会 補正予算（案）の概要

第3回定例会では、地域総合除雪業務などの除排雪関係経費や、（仮称）消防署手宮支署建設に向けた基本設計、総合福祉センター・高島小学校温水プールの暖房用設備の更新や、小樽港の多目的荷役機械の補修に要する費用などを計上したほか、平成29年度決算に伴う繰越金、財政調整基金積立金などを計上しました。

会 計 名	補正予算額
一 般 会 計	13億53万円
港湾整備事業特別会計	2,187万6千円
国民健康保険事業特別会計	3億9,018万2千円
介護保険事業特別会計	5億1,037万円
後期高齢者医療事業特別会計	5,230万2千円
合 計	22億7,526万円

【補正予算の主な内容】

◆ 一般会計

総合福祉センターボイラー改修事業費 1,400万円（資料②2P）

経年劣化により水漏れが発生した暖房用ボイラーを更新

「COOL CHOICE」推進事業費 480万円（資料②2P）

国が推進する二酸化炭素の排出抑制に向けた取組を普及するため、バスラッピングによる広告や啓発イベント等を実施

農業次世代人材投資事業費補助金 112万5千円（資料②3P）

次世代を担う新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援するため資金を交付

除 雪 費 9億664万4千円 (資料②4P)

(当初6億4,326万6千円→15億4,991万円)

地域総合除雪業務などの除排雪関係経費及び電気料金の上昇によるロードヒーティング経費の増額分

地域総合除雪業務については、市民要望の多い排雪作業の充実を図るため、昨年度に比べ、計画排雪量を拡大

- ・除排雪関係経費 8億8,664万4千円
- ・ロードヒーティング関係経費 2,000万円

(仮称) 消防署手宮支署建設事業費 370万円 (資料②4P)

「小樽市消防長期構想」に基づき、手宮出張所と高島支所を統合した新庁舎を建設

- ・平成30年度 基本設計
- ・平成31年度 実施設計
- ・平成32年度 新庁舎建設工事
- ・平成33年度 供用開始

プール暖房設備改修事業費(高島小) 1,100万円 (資料②5P)

経年劣化により破損した温水暖房設備を更新

(国等への返還金) 国や道から超過交付となった国庫支出金等の返還

平成29年度超過交付額返還金 1億6,756万6千円 (資料②1P・2P)

(そ の 他)

[歳 入] 地方特例交付金	2万8千円 (資料②6P)
普通交付税	△1億6,968万4千円 (資料②6P)
財政調整基金繰入金	10億8,335万4千円 (資料②6P)
繰越金	2億2,064万4千円 (資料②6P)
臨時財政対策債	△2,218万4千円 (資料②6P)

[積立金] 庁舎建設資金基金積立金	1,000万円 (資料②2P)
財政調整基金積立金	1億1,032万3千円 (資料②5P)
寄附に伴う積立金	6,028万4千円
ふるさと応援基金積立金ほか6件	(資料②1P・2P・4P・5P)

[繰出金] 特別会計への繰出金	1,108万8千円 (資料②6P)
港湾整備事業特別会計	

◆ 港湾整備事業特別会計

多目的荷役機械維持補修費

2, 187万6千円 (資料②7P)

経年劣化により故障した多目的荷役機械の補修

◆ 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険システム改修事業費

27万円 (資料②7P)

平成30年度の国民健康保険制度改正に伴うシステム改修

上記のほか、

一般会計では、寄附金や助成金の交付による事業費の財源振替、特別会計では、一般会計と同様に国等への返還金のほか、平成29年度決算に伴い繰越金や積立金などを予算計上しています。